

埼臨技 だより

発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会

〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7 TEL 048(824)4077 FAX 048(824)4095

URL:<http://www.sairingi.com/> 携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

平成26年度 埼玉県医師会 精度管理試料梱包・発送作業に参加して

9月6日(土)、夏の暑い陽射しがまだ感じられる秋晴のなか、第26回目となる埼玉県医師会精度管理調査の試料梱包作業が行われました。今回、初めての参加でしたが、埼玉県内約230施設分の膨大な試料の数や通路いっぱいに広げられた梱包箱にまず驚きました。臨床化学研究班では、凍結試料にラベルを貼る作業があり、予定よりも早く会場入りしましたが、すでに一部の埼臨技の理事や研究班員の方が集まっていました。



山口委員長

午前9時からの開会式で、山口純也精度管理委員長の進行により神山清志副会長の挨拶と作業についての説明があり、その後、梱包作業が開始されました。作業内容としては、『コ』の字型に配置された机に各研究班員が座り、回ってきた箱に貼ってあるラベルの施設名と参加試料を確認し、順番に詰めていく流れ作業です。開始直後は、試料を詰める位置の確認や無理に詰め込んで試料ラベルに傷がついてしまうなどのトラブルがありましたが、だんだんとコツをつかんで順調に作業を進めてきました。試料を間違えないように1つずつ確認しながら詰め、最後の班員がダブルチェックをする体制で行いました。

それでも作業が中盤を過ぎてくると、梱包の最終確認担当者による鋭いトリプルチェックのおかげで、試料の一部詰め直しなども発生しました。やはり、どうしても人の手による作業なので、複数のチェック体制が必要だと感じました。ともあれ、埼玉県理事と各研究班員の約40人体制でのすばらしい連携プレーで梱包作業は無事に進み、あとは箱詰めした試料と手引書、案内書などを宅配便の袋に同封し発送で作業は終了となりました。

朝早くから大勢の方の協力があってこそこのコン



神山副会長



トロールサーベイであるのだと改めて実感いたしました。最後になりましたが、精度管理試料梱包・発送に携わった理事や各研究班員の皆様、本当におつかれさまでした。

(文責：稻山拓司)

日臨技精度保証施設認証の申請について

1. 申請手順

- 1) 詳細資料、申請書類は日臨技ホームページよりダウンロードして下さい。
- 2) 申請者は必要事項を記入した申請書類等を、日本臨床衛生検査技師会「精度保証施設認証WG」宛に提出して下さい。

※今年度より県技師会での認証審査はありません。

申請受付期間：平成26年10月1日(水)～11月28日(金)

2. 認証費用

日臨技理事会または執行理事会で承認後、認証の決定通知と請求書が送付されます。

認証費用：50,000円（税込み）

※承認通知、認証料請求書発送は、平成27年2月上旬～中旬を予定しています。

3. 更新施設

平成23年度に審査を受け、平成24・25年度が認証されている施設は本年度、更新になります。

第43回 埼玉県医学検査学会だより

【学術部】

私が、実行委員として活動を始めて早1年。改めて振り返ってみると、え、もう？という感じで、あっという間に過ぎた気がします。

さて、第43回埼玉県医学検査学会まで、残すところ2カ月程となりました。発表される方々は準備に忙しくなってきてることでしょう。私たち学術部の実行委員は、抄録作成に目処がつき安心してきたところです。これからは、素晴らしい学会とするための準備を運営部とともに頑張っていきます。今学会では、過去最高の160を超える演題数が集まりました。また、特別講演・市民公開講演（大宮高校吹奏楽部演奏）・Skill up Projectと、かなり盛りだくさんの内容となっております。当日は1人でも多くの会員の方々と「つ・な・が・る」ことが出来ますよう、実行委員一同、皆さんのご来場をお待ちしております。

私は、今号ではスライド作成時、そして次号では発表時に気を付けたいことをこの埼臨技だよりに投稿致します。実際のところ、皆さんにお伝えできるほど、豊富な経験やスキルが私にあるとは言えませんが、自分なりにまとめてみました。足りないところがあるかと思いますが、初心者の方の一助となれば幸いです。

(文責： 笹野勝年)

【会計部】

第43回埼玉県医学検査学会の実行委員になり、もうすぐ1年となります。数年前に当日実務委員をやらせていただいた事がありましたが、当時は学会が開催されるまでのプロセスを全く理解していませんでした。今回、職場上司から実行委員の話しがあった時も軽い気持ちで引き受けてしまい

ましたが、自分が恥ずかしくなるくらい、他の実行委員のモチベーションの高さに圧倒されております。

本学会まで残り3ヶ月となりましたが、このような優秀な実行委員の方々のがんばりで市民公開講演ポスターや特別講演、公開講演などの企画が完成され、現在はたくさんの方々にエントリーしていただいた、160演題を超える抄録集の完成に向けてがんばっているところであります。この抄録の確認作業時に抄録の一部を拝見させていただきましたが、内容の濃いものがたくさんあるように見受けられ、日頃からの学会への意識の高さがうかがわれました。また、発表だけでなく様々な企画もありますので、こちらには検査技師の方々だけではなく、一般市民の方や他職種の方々にも足を運んでいただけたらと思っております。

当日は、会計委員として当日受付業務をさせていただくことになると思いますが、その際、混雑等でお待たせさせてしましましたらすみません。温かい目で見守っていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

(文責：早坂拓哉)



スライド作成時の注意点

スライドを作成するうえで最も大事なことは、内容がきちんと伝わるということです。どんなに良い内容であっても、聞き手に伝わらなければ意味がありません。スライドを作成するうえで気をつけたいことを、紹介致します。

1. 構成

スライドを作るときに、まず自分でストーリーを考えます。基本的には、タイトル・目的・方法・結果・考察・結語となります。症例報告では、方法・結果の代わりに、症例・現病歴・経過・所見となるでしょうか。そして最も重要なことは、目的と結語のつじつまがしっかりと合っていることです。この2枚のスライドから作り始めることをお勧めします。また、6分の発表ですからスライドの枚数は10枚程度が妥当と思われます。

2. 配色と文字

配色・文字のサイズやフォントは全体的に統一した方がいいでしょう。背景と文字は、相反する色の組み合わせにすると見やすいです。淡い色の背景には、濃い色の文字、逆に濃い色の背景には、明るい色の文字にする、そして強調したいテキストは違う色や太字を用いるといったところでしょうか。文字スライドで多くの色使いはやめましょう。重要度が解らなくなってしまいます。文字のサイズは、出来るだけ大きく！が基本です。最低でも24ptはないと、後ろの方には読めません。そこで、文字数が問題となります。そのスライドで伝えたいことを長い文章ではなく、簡潔にまとめ、箇条書きにするなどの工夫で、見栄えもよくなり理解しやすくなります。

3. 図表

解りやすいことが基本です。1枚のスライドに複数の図表を入れることは避けた方がいいでしょ

う。注目してほしい箇所は目立つ色が太く、グラフではX軸・Y軸の項目、そして単位を忘れずに大きい文字で記入しましょう。

4. アニメーション

アニメーション機能を利用する場合、あまり多用すると人によっては煩わしさを感じてしまうこともあるようです。種類も多く、色々と使ってみたい気持ちも分かります。しかし、聞き手のためのスライドであることを第一に考えれば、注目してほしい所に絞って使うほうが、効果的と言えるでしょう。

5. 画面設定

ページ設定で35mmスライドにしてください。発表で用いるスライドは35mmスライドで作成するのが基本となっています。

以上、簡単ではありますが、スライド作成のポイントを紹介致しました。初心者の方々に少しでもお役に立てれば幸いです。ここに書いたことは基本的なことであり、ベテランの方々は沢山のノウハウをお持ちだと思います。足りない点は多々あると思いますがご容赦ください。

(文責：笛野勝年)



各研究班の研修会報告を致します。

テーマ 上皮細胞類

主 催 一般検査研究班

実施日時：平成26年5月30日 19時00分～21時00分

会場：浦和コミュニティーセンター 第15集会室

講 師：山浦 久（さいたま市立病院）

川音勝江（JCHO埼玉メディカルセンター）

協賛：東洋紡株式会社

参加人数：会員73名 賛助会員 2名 非会員 9名

出席した研究班班員：山本英俊 室谷明子 小関紀之 深田茂則 竹山梨枝子 土屋貴絵
檍島碧

研修内容・感想など

今回の研修会は、4月の「非上皮細胞類」に続いて「上皮細胞類」を主題として「沈渣に出てくる上皮細胞のお話」を山浦技師に、「扁平上皮の性周期と検出したい異型細胞」について川音技師に講演していただいた。山浦技師から沈渣をみるポイントとして、解剖を知ること・特徴を捉えること・病態を予測することなどが大切とのことであった。そして沈渣の各上皮の形態的特徴やHE染色のマクロ写真用いての説明や、カテーテル挿入により尿路上皮細胞と円柱上皮細胞が見られた症例などを紹介していただいた。

川音技師からは月経周期の卵胞期・排卵期・黄体期の経過について、どのような細胞が見られるかを説明していただいた。同じ扁平上皮細胞でも卵胞期では中層細胞が多く、排卵期に近くにつれ表層細胞が増殖し、排卵直後は表層細胞がはがれるため、しづら状の扁平上皮が見られるそうだ。黄体期では、扁平上皮の裸核やデーデルライン桿菌の出現と共に、白血球数も増えるとのことだった。また、尿路上皮癌や大腸癌の膀胱浸潤の異型細胞を探す時に、サマリーや沈渣背景をよく観察することも重要とのことであった。今まで性周期での細胞形態の変化を意識したことがなかったが、少し気に留めて沈渣を鏡検することにより、通常の業務も興味深く行えると思った。(文責・竹山梨枝子)

テーマ プレゼンテーションの技術 ー失敗から学ぶプレゼンテーションー

主催 公衆衛生検査研究班

実施日時：平成26年9月12日 19時00分～20時30分

会 場：大宮ソニックシティ 602号室 点数：基礎教科－20点

講 師：八幡 純一（NPO法人 国際プレゼンテーション協会）

参加人数：会員53名

出席した研究班班員：菊地孝司 阿保一茂 榎原外江 長崎広美 立塚梓 鈴木勤 穴原賢治

研修内容・感想など

今回の研修会は、『プレゼンテーションの技術』と題し、NPO法人 国際プレゼンテーション協会 八幡純一氏に講演していただいた。講演内容はスライド提示ではなく講師と受講者との対話形式で約1時間半の内容だった。パワーポイントを使用したスライド形式で行う普段の講演や学会発表とは違い、聞き手とのコミュニケーションを取りながら行う形式のもので、とても興味深く聴講できた。自分の説明を相手に分かりやすく理解してもらうための手段として、内容のポイントを絞ったり、相手によって説明のやり方を変えることが挙げられた。自分の説明を集中して聞いてもらうためには、会場のレイアウトの変更や、一時的に時計などの備品を無くす事も必要だと聞いたときは驚いた。伝える手段では、まず結論から述べその理由を分析した内容を3つに絞って分けて伝え、最後にもう一回結論を言う技術を教えていただいた。プレゼンテーションは学会発表や、講演会、勉強会でも必要なものなので、今回の講義内容は今後とも有効となると感じた。

(文責：穴原賢治)



お知らせ

埼臨技事務所改裝工事に伴う仮事務所への 移転について

埼臨技事務所の改裝工事に伴い、平成26年9月22日より仮事務所へ移転致しました。移転先は下記のとおりとなります。

尚、電話番号、FAX、メールアドレスについては、変更はありません。
詳細は埼臨技HPにてご確認ください。

《仮事務所》

〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-2-7 北浦和レジデンス2F

埼臨技ひろば①

埼臨技有志ゴルフコンペのお知らせ

日 時：平成26年11月16日（日） 8:17 a.m インスタート

コース：大麻生ゴルフ場

参 加 費：4,000円+プレー費14,000円

募 集 人 数：4組

幹 事：遠藤敏彦（川口市立医療センター） 打田孝枝（埼玉メディカルセンター）

申 し 込 み：打田まで（10月31日締切）

TEL：048-832-4951（内）1311 E-mail：saitama-kensa@xug.biglobe.ne.jp

件名は「ゴルフコンペ申し込み」としてください。



たくさんの方の参加をお待ちしております。

埼臨技ひろば②

第1回バスケットボール大会の報告

おかげ様で9月20日(土)は10名の参加(部員登録14名)をいただきました。自己紹介に始まり、レイアップシュート、2対1、3対1の練習を経て、5対5の試合形式で汗を流しました。初心者も経験者もバスケは久しぶりの方も多くシュートの感覚がつかめずなかなか決まらない場面がありましたが、次第になれてきてバックシュート、3ポイントシュート、ダンクシュートなども決まるほどハイレベル?な試合展開になりました。次の日はひどい筋肉痛になったことはいうまでもありません。

さて、今後も不定期ですが活動をしてまいりますのでご興味のある方は世話人まで連絡ください。

世話人：小関紀之 (n-ozeki@dokkyomed.ac.jp)



【各賞受賞者】

MVP賞	武藤選手(埼玉協同病院)
レイアップシュート賞	立塚選手(蕨市立病院)
クロスオーバー賞	野本選手(上尾中央医科グループ 吉川総合病院)
ドリブラー賞	巖崎選手(東松山医師会病院)
3ポイントシュート賞	成田選手(埼玉県済生会栗橋病院)
リバウンド賞	笹崎選手(上尾中央医科グループ 上尾中央臨床検査研究所)
ポストプレー賞	小原選手(済生会川口総合病院)
バックシュート賞	永井選手(済生会川口総合病院)
ダンクシュート賞	藤井選手(蕨市立病院)
頑張りま賞	小関選手(獨協医科大学越谷病院)

平成26年度 公益社団法人埼玉県臨床検査技師会 第7回 理事会議事録

日 時：平成26年9月11日(木) 19時00分より
場 所：埼臨技事務所
　　　　さいたま市浦和区領家7-14-7
議 題：I. 行動報告 II. 報告事項
　　　　III. 承認事項 IV. 議題
出 席：(理事)津田 神山 島村 矢作 小山
　　　　奈良 猪浦 長岡 伊藤 松岡
　　　　小島 濱本 藤井 長澤 山口
　　　　鳥山 武関 野瀬 神嶋
(監事)遠藤

本日の理事会の出席者は20名であった。理事の出席者は19名で、現在数20名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、津田聰一郎会長が務めることとなった。

I. 行動報告(平成26年8月9日～平成26年9月10日)
8月8日(金)平成26年度公益社団法人第6回理事会：

津田、神山、島村、矢作、小山、
奈良、猪浦、長岡、伊藤、松岡、
小島、濱本、藤井、長澤、武関、
野瀬、神嶋、遠藤、細谷

8月12日(火)新会計ソフト打ち合わせ：
島村、松岡、細谷

8月14日(木)事業部会：濱本、藤井、長澤

8月19日(火)第43回埼玉県医学検査学会第12回
実行委員会：岡田、小島、長岡
8月19日(火)第2回事務局会議：矢作、小山
8月21日(木)第5回事務所改装検討委員会：
津田、神山、島村、矢作、小山、
松岡、小島
8月24日(日)一都八県会長会議：津田
8月30日(土)三役・部長メール会議：
津田、神山、島村、岡田、矢作、
小山、奈良、松岡、濱本、山口、
野瀬、遠藤、細谷
8月30日(土)第43回埼玉県医学検査学会抄録査
読会：岡田、小島
9月5日(金)法人運営実務解説セミナー：
小山、松岡
9月5日(金)検査室運営研修会大宮ソニック打
合せ：藤井
9月6日(土)埼玉県医師会精度管理調査梱包・
発送作業：
神山、岡田、小山、奈良、猪浦、
長岡、伊藤、松岡、小島、濱本、
藤井、長澤、山口、鳥山、武関、
野瀬
9月6日(土)事務所大掃除作業：
神山、島村、小山、奈良、猪浦、
長岡、伊藤、松岡、小島、濱本、
藤井、山口、鳥山、武関、野瀬

II. 報告事項

1 事務局

- 1) 8月19日、第2回事務局会議を開催した。
- 2) 「地域ニューリーダー育成講習会」の受講
者について小関 紀之氏（獨協医科大学越
谷病院）を推薦した。

2 総務部

- 1) 「埼臨技だより」第424号、9月15日発行予定

3 事業部

- 1) 8月14日、事業部会を開催した。
- 2) 8月15日、全国検査と健康展の企画書・予
算書を日臨技事務局へ提出した。
- 3) 埼玉メディカルセンターへ全国検査と健康
展への医師派遣の依頼状を送付した。
- 4) 9月30日開催、第1回検査室運営研修会の
会場変更について

4 学術部

- 1) 第51回関甲信支部学会座長の推薦を行った。
- 2) 第43回埼玉県医学検査学会座長推薦を研究
班に依頼した。
- 3) 第17回関甲信支部・首都圏支部輸血検査研

修会案内をだより8月号に同封した。

- 4) 第8回埼玉医療安全大会の「輸血の安全」
に関するシンポジストに、塙原 晃氏（戸
田中央総合病院）を推薦した。

日 時：平成26年11月8日(土) 13時～
会 場：ラフレシアいたま 3階 櫻の間

5 精度保証部

- 1) 施設認証保証制度についての案内を「埼臨
技だより」第425号に掲載予定

6 会計部

- 1) 平成26年度会費24名分120,000円、入会金24
名分24,000円、合計144,000円の入金があつ
た。
- 2) 平成26年度生涯教育助成金38,000円の入金
があつた。
- 3) だより第423号印刷代112,914円を石井印刷
に支払った。

7 精度管理委員会

- 1) 9月6日、埼玉県医師会精度管理調査資料
の梱包・発送作業を行った。

8 一都八県会長会議

- 1) 8月24日、都臨技事務所にて一都八県会長
会議を開催した。
- 2) 支部学会は再来年以降、関甲信支部・首都
圏支部合同で開催されることとなった。
平成28年度（第53回）：山梨県担当
平成29年度（第54回）：埼玉県担当
- 3) 第66回全国学会（平成29年度）の招致につ
いて（担当：関甲信地域）

9 日臨技関甲信支部

10 第43回埼玉県医学検査学会

- 1) 8月19日、第12回実行委員会を開催した。
- 2) 8月30日、抄録査読会を開催した。

III. 承認事項

1 事務局

- 1) 会員動向（会費納入済）（平成26年度分）
平成26年9月5日現在
会員数 2,446名

新入会員 180名 [平成25年度会員数2,306名]
賛助会員 62社 [平成25年度 72社] (7月31日現在)

- 2) 公益社団法人日本放射線技術学会からの後
援依頼について

2 総務部

3 事業部

4 学術部

- 1) 臨床化学検査研究班秋季一泊研修会（第17
回秩父セミナー）開催について
- 2) 生涯教育研修プログラムへの非会員会場整
理費記載法について

- 5 精度保証部
6 会計部

IV. 議題

1 事務所改装について

標記の件について、神山副会長より事務所改装検討委員会での内容を踏まえた発言があった。これを受け理事会審議の結果、フルリフォームとすることを、出席理事全会一致で承認した。

2 事務所改装に関する改装費用の拠出について

標記の件について、島村副会長より改装費用の拠出については、旧法人時に特別会

計（事務所改修・積立特別会計）として積み立てていた分を当て、不足分は銀行等金融機関からの融資を受けたいと発言があった。これを受け理事会審議の結果、出席理事全会一致で承認した。

3 事務所改装に関する借入融資先について

標記の件について、島村副会長より二銀行から見積書を頂いたと発言があった。これを受け理事会審議の結果、金利を考え武蔵野銀行より融資を受けることを、出席理事全会一致で承認した。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

求人案内

○獨協医科大学越谷病院

採用条件：臨時職員
連絡先：048-965-4954 検査部 柴崎
(業務について)
048-965-9138 職員課 高際
(事務的なこと)

○まつもと糖尿病クリニック

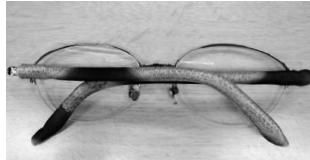
採用条件：正職員 臨時職員
連絡先：048-775-2222 事務長 松本洋平

○医療法人 一成会 さいたま記念病院
採用条件：約1年間のパート勤務
連絡先：048-686-3111 内線631
検査科 加賀谷

給与、社会保険等、詳細につきましては掲載してある連絡先にてご確認をお願いいたします。

あとがき

眼鏡フレームのカバーが、ひそかなブームになっていることを知りました。それは、水着の生地（伸縮性と吸水性に優れ、洗濯が容易）で作ったものでした。とても素敵だったので、早速、娘時代の着られなくなった水着を取り出し、私もカバー作りに挑戦してみました。



柄の使い方次第で、水着が様々な模様のフレームカバーとして生まれ変わる。柄あわせをしながら、出来上がりを想像して、楽しみながらミシンを踏んだ。その日の気分で、フレームの柄が変わるものおしゃれですよね。

老眼鏡を手放すことが出来なくなってしまった私に、寂しさを感じておりましたが、最近では老眼鏡をするのが楽しみになりました。

興味のある方は、試してみてください。いつもと違った自分に、なれるかも。

(伊藤 記)

